

自己点検・評価シート

平成25年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.		所属名	教育委員会事務局 体育課
事務事業名	鳥取マラソン開催事業		

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす
	施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民全般（市外、県外含む）
意図 (どのような状態にするために)	多くの市民に身体を動かす機会と記録へ挑戦する機会を提供するとともに、マラソンを核に全国へ鳥取市をアピールする。
手段 (どうするのか)	実行委員会を構成するマスメディアを最大限に活用した情報提供と大会の告知を展開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	大会の実施	大会の実施	・実行委員会の開催 ・新コースの設定 ・大会の実施	・実行委員会の開催 ・大会の実施	・実行委員会の開催 ・大会の実施	
	年度別実績	大会実施 参加者 2, 622人	大会実施 参加者 2, 882人	・実行委員会の設立 および開催（年2回） ・新コースによる大会の実施（年1回） ・大会実施 参加者 3, 012人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,750	3,743	8,729	5,000		
	直接経費 A	3,000	3,000	8,000	5,000		
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,000	3,000	8,000	5,000	
人件費 B	750	743	729				
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10			
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00			
	臨時職員	0.00	0.00	0.00			

4. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 平成19年度に約800名の参加のもとスタートした「鳥取マラソン」は、県内唯一のフルマラソン大会である。現在では全国のランニング愛好者約3,000名が参加し、鳥取市内の観光名所等を巡る魅力の詰まった大会となっている。 主催 鳥取マラソン実行委員会 (鳥取県、鳥取市、新日本海新聞社、鳥取陸上競技協会の四者で構成) 内容 フルマラソン（スタート：鳥取砂丘オアシス広場付近、フィニッシュ：コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場、制限時間6時間）</p> <p>2 事業の成果 マラソンを核に「鳥取市」を全国にPRする。 実行委員会事務局を日本海新聞社に置き、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態としている。</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	鳥取マラソン参加者数	人	目標	2000	2100	3000	3000	3000
		(指標の説明)		実績	2622	2881	3012		
	2	鳥取マラソンへの県外からの参加者数	人	目標			1800	1800	2100
		(指標の説明)		実績			1771		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取マラソン参加者数	人	131%	137%	100%		
	2	鳥取マラソンへの県外からの参加者数	人			98%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	全国各地のランニング愛好者に向けた魅力あるマラソン大会であり、鳥取市の地域振興およびスポーツ振興に寄与できる大会である。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	参加者は増加傾向にある。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	実行委員会を新日本海新聞社に設置し、民間の機動力とノウハウ、広告宣伝力を生かす運営形態となっている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市民のみならず、県外からの参加も対象としている。公平性は評価できる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善 <input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止	<input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	年々参加者が増加傾向にあり、鳥取市を全国にアピールできる大会へと成長しつつある。			
今後の課題・方向性	今後も運営体制を充実させ、参加者の増加につなげるよう継続する。			

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	全国的なこのようなイベントは鳥取市のような地方の小さな都市にとって、知名度を上げるだけでなく県外者の参加で実質的に経済的効果がある点でも重要な事業と考える。開催時期の工夫や、受入体制の整備により、県内だけでなく、県外からの参加者の増加を図るよう努めてほしい。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	本年度より事業の性質が大きく変化しており、それに伴って見直された指標は新たな事業の性格を反映したものと考えられる。地域の社会教育の側面とスポーツツーリズムの側面には重なる面もあるが相違も少なからず存在するため、今後の事業のあり方には十分な注意を求めたい。
--------	---